

不老仙・タイム

http://www.furousen.com

No.59

HOUTOKU FUROUSEN TIME

株式会社 ホートク食品 〒899-5653 鹿児島県始良市池島町27番地16 ☎0120-05-6040 FAX 0995-65-6041

不老仙1袋を加えておけば
1日の必要量を上回るORAC値！
オラックチ (抗酸化量)

不老仙って
すごい！

不老仙の力にびっくり！二人の医学博士が本社を訪問

生活習慣病は、ライフスタイルと体の仕組みのミスマッチで活性酸素が介入する活性酸素病で、多くは自覚症状がなく、罹患率が高い病気です。これを解決するのに必要なのが第7栄養素(抗酸化物質)で、不老仙はその第7栄養素も持っていることが分かりました。

生活習慣病を食事で治そうとすると、酸化ストレスを消去する抗酸化量を示す「ものさし」が必要となりますが、抗酸化指標として欧米で認知されているものに

不老仙の驚異の抗酸化量・ORAC値

- 1) 不老仙1袋(20g)
- 2) ORAC値は1g中93 μmolTE
(日本食品分析センター成績書)
- 3) 1日の必要量は4700 μmolTE
- 4) 日本人1日平均摂取量は3000 μmolTE
- 5) 摂取不足量(必要量-摂取量)は
 $4700 - 3000 = 1700 \mu\text{molTE}$

【不老仙のORAC値の計算】

☆1袋中のORAC値は
 $93 \times 20\text{g} = 1860 \mu\text{molTE}$ となり
不老仙1袋加えれば
不足分を十分クリアーします。



ORAC値があります。不老仙1袋のORAC値は、分析の結果、左表の計算のように1860 μmolTE になり、不老仙1袋を加えておけば、1日の必要量を超えることが分かりました。(ORAC値については中頁に詳しく紹介しています)

不老仙のORAC値が大変素晴らしいことを発見してくださったのが、前畑英介医学博士(前昭和大学医学部兼任講師。現在プロマ研究所会長)と柳沢昊永東洋医学博士(プロマ研究所代表取締役)のお二人でした。

前畑先生が、どうしたらこんな高栄養能をもつ商品が生まれるのか、ぜひ生産するオリジナル現場を見せてほしいと申し出てくださり、柳沢先生とともに鹿児島の本社を訪問してくださいました。

改めて不老仙の素晴らしさを実感！

お二人の先生方との出逢いで、不老仙は食物繊維が豊富で、カルシウムたっぷり、7大栄養素すべてを含み、ORAC値まで素晴らしい値だということ知り、これまで多くのお客さま方が貴重な体験をお寄せいただいていた理由が納得できました。食生活に簡単で美味しく頂ける不老仙を1袋を加えるだけで、生活習慣病を避けて長生きできるなら、こんな嬉しいことはありません。健康で長生きするには、毎日の食生活を含めた生活全体を見直し、「良い」と知ったことの中で「自分のできること」があれば、それを続けることではないでしょうか。



不老仙が
驚くほど持つ

抗酸化力「ORAC値」ってな～に

活性酸素吸収能力を表わす「ORAC値」

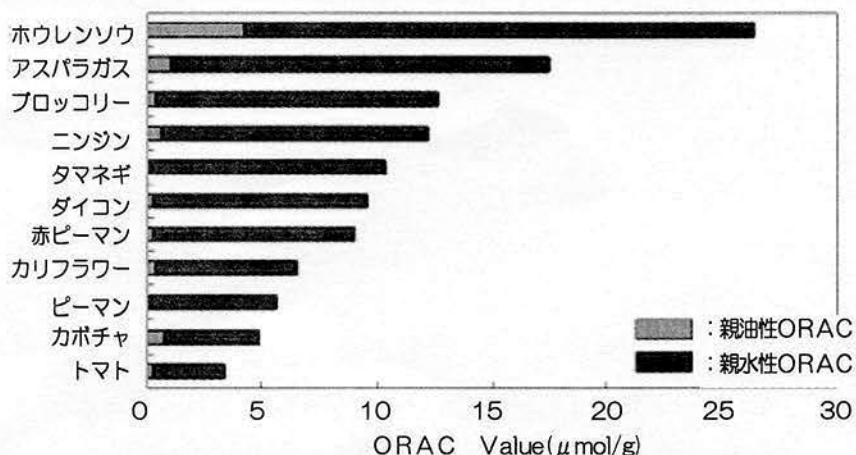
「ORAC値」とは活性酸素吸収能力の強さを示す指標のことです。食品などに含まれる抗酸化物質を分析する新しい指標、食材や健康食品などの機能を測る指標として注目され、近年公的機関でも採用されつつあります。ORAC値が高いほど抗酸化能力が高くなるので、抗酸化能力が高い食材を多く摂ることが健康体を維持する秘訣です。

アメリカでは認知度が高く、すでにORAC値を表記して、どれだけの抗酸化力があるかを具体的数値で示している飲料やサプリメント商品も広く販売されています。

目標に程遠い日本人のORAC摂取量

厚生労働省は、日本人1日当たりの野菜350g、果物200gを摂ることを推奨していますが、これをORAC値に換算すると4700 μmolTE になります。マイクロモルしかし国民健康・栄養調査をもとにした日本人の摂取ORAC値は3000 μmolTE で目標値には程遠く、1700 μmolTE 不足しています。ORAC値を高め、抗酸化力を高めることが、健やかで楽しい毎日を実現します。

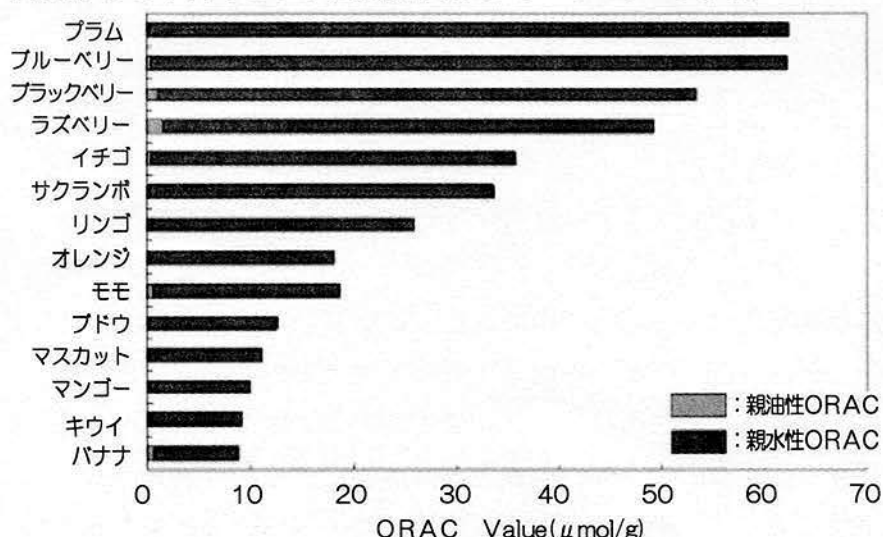
野菜のORAC値 (食品分析開発センターホームページより)



十分なORAC値をキープ
することは、こんなに大変！
(4700 μmolTE の量)
毎日こんなに食べられない！

トマトなら 中1個200g 7個	
にんじん 1本90g 4本	
バナナ 1本150g 3.5本	
ブロッコリー 1株350g 1株	
イチゴ 1粒10g 14個	

果物のORAC値 (食品分析開発センターホームページより)



生活習慣病と活性酸素・不老仙の力

「活性酸素」が病気をつくる

私たちの細胞内に発生し細胞を低下させる「活性酸素」が病気の原因で、3大疾患(生活習慣病、感染症、遺伝子異常症)の90%以上が活性酸素の影響を受けた結果です。活性酸素は、身体をサビつかせる物質、身体を老化させる物質で、活性酸素が増えると体が酸化し体調を崩します。しかし人には酸化防止システム(抗酸化作用)があります。活性酸素も、異物が侵入したとき、公害物質や紫外線から守るときなど、体を守る益として一部は働きます。活性酸素と抗酸化作用がバランスを保って健康を維持していますが、活性酸素が増えて、そのバランスが崩れると病気になります。

7大生活習慣病

- ▲がん(悪性新生物)
死亡1位(男性34%、女性27%)
- ▲心疾患(狭心症・心筋梗塞等)
死亡2位(男性14%、女性17%)
- ▲脳卒中(脳血管疾患)
死亡3位(男性12%、女性16%)
- △糖尿病 2210万人(推定)・死亡14000人
- △高血圧性疾患
- △慢性腎不全
- △肝硬変 (厚生労働省生活習慣病対策室資料より)

不老仙は、活性酸素を消去できる「七大栄養素」も持っている

健康を維持するには、抗酸化力を高め、細胞の活性化を図ることです。それには過剰に発生した活性酸素を消去しコントロールする力、抗酸化能力を持つ体しておくことです。抗酸化力を高めるには、体外から摂る食事が大事で、有色野菜がその代表ですが、いま注目されているのが下の表の「七大栄養素」です。不老仙には、この七大栄養素(抗酸化物質)のすべてを非常に多く持っているのが注目されたのです。

タンパク質・糖質・脂質 (エネルギーになる成分)
三大栄養素
ビタミン・ミネラル (身体の働きに必要な成分)
五大栄養素
食物繊維
六大栄養素
抗酸化物質 (カテキン、フラボノイド、カロチノイド、アントシアニン、ビタミンC、ビタミンEなど、野菜・果物にたくさん含まれる)
七大栄養素

三大栄養素 はエネルギーになる成分で、体の守りである免疫力を付け、臓器をつくるものです。

五大栄養素 はビタミンやミネラルなど体内ではつくれない栄養素です。食べることで摂れるもので、酵素やホルモンの代謝を促します。

六大栄養素 は食物繊維です。体内の水分を吸収しコレステロールを吸着させ排便を促します。

七大栄養素 は、酸化ストレスと対峙する抗酸化物質です。体内にある抗酸化物質のアルブミン、ビリルビン、グルタチオン、ビタミンC、Eなどが基準以下になったとき体調を崩すので、GABA、オリザノール酸、フィチン酸、フェルラ酸などを体外から摂る必要があります。

ORAC値(抗酸化能力)が驚異の93 $\mu\text{mol TE/g}$

不老仙は
アンチエイジング!?

不老仙は
「健康維持に不可欠な食材」と
科学的に網羅・把握されました!

前畑英介・柳沢昊永両医学博士が指摘

生活習慣病は活性酸素病

生活習慣病は、活性酸素の影響を受け、酸化ストレスとして細胞、組織を損傷させた結果です。活性酸素は外因性(紫外線、タバコ、排気ガスなどの体内侵入)と内因性(食ストレス、精神ストレスなどの代謝性により発生)とが集合したものです。その過剰発生の活性酸素種を食事で防ぐこと、それは「抗酸化能」の高いものを摂ることが健康へのカギとなります。「抗酸化能力」とは、活性酸素を消去できる能力を持つ食材で、有色野菜がその代表です。例えば、赤、紫、青色のフラボノイド系、黄、オレンジ色のカロテノイド系に大別されます。「不老仙」はこの2つの有色素系を持っているので、水溶性の抗酸化成分が特異的に含まれていると言えます。

不老仙は健康維持、老化予防に最適!

ヒトは酸化的代謝を行うことで活力をつけた生活を営みます。代謝には栄養素の力が絶対です。3大栄養素、5大栄養素、6大栄養素、7大栄養素のすべてが必要です(詳しくは中ページ紹介しています)。

不老仙は焙煎した10種類の混合粉末で、原材料を焙煎したことが抗酸化能力を高め、7大栄養素を持っていることが大きな力になっていますし、酵素活性力、タンパク力、ミネラル力も高い力を持っています。

そうした力が相まって、不老仙には動脈硬化症に対する抗血管障害、抗糖尿病、抗ガン作用があり、加えて老化遅延作用もあることから、生活習慣病を回避し改善させる食材、健康維持に不可欠な食材、高抗酸化能・総合栄養食材と言ると、表ページに紹介している前畑医学博士たちが教えてくださいました。

アンチエイジングとは?

「アンチエイジング」とは、老化防止を意味する英語で、抗老化や抗加齢とも訳されています。加齢によるシミやシワ、骨や筋力の衰え、動脈硬化やガン等をはじめ、生活習慣病でリスクが高まる様々な病気など、その原因を抑制することで老化を遅らせようとすることを言います。

老化には、遺伝子の異変、免疫力や細胞機能の低下、ホルモンレベルの低下、ストレスなどが密接に関わっていることが徐々に分かってきています。

そのため予防医学として、食事やサプリメント、運動療法などを通じて生活習慣病に取り組んでいるのが抗加齢医学です。アメリカで1990年に始まり、日本では2003年に「日本抗加齢学会」が設立されるまでになっていて、これまでの人間ドッグに加え「抗加齢ドッグ」の認識も広がっています。



不老仙はアンチエイジング食材

7大栄養素を持ち、高いORAC値を持つ不老仙は、血流をきれいにし、幹細胞を活性化し、酵素の活性化を高め、活性酸素を消去し、免疫力を高める「抗酸化食材」「総合栄養食材」ですから、まさにアンチエイジング食材と言っても過言ではなさそうです。